

## 特集

「在宅医療・介護元年」  
の成果と展望

厚生労働省は、2012年度を「在宅医療・介護元年」と位置づけ、「在宅医療連携拠点事業」を行ないました。同事業を受託したのは全国105拠点。本特集では、訪問看護ステーションと診療所の取り組みを中心に同事業の成果を振り返り、多職種連携における「訪問看護」の役割にもスポットを当てます。2025年に向けて、いかに「在宅医療・介護」を充実させていくかのヒントが満載です。

## 【総論】

「在宅医療連携拠点事業」の成果と展望●福井小紀子

## 【実践報告】

①【新潟】フラットでスムーズな「看介連携」への取り組み●吉井靖子

②【福岡】「認知症ケア」を主体とする多職種連携に向けて●白木裕子

③【岐阜】地域ぐるみの「24時間対応」と「看取り」への取り組み●木村久美子

④【岩手】「チームもりおか」の取り組みと今後●板垣園子

⑤【東京】「暮らしの保健室」の今後の展開●秋山正子

## 【座談会】

在宅医療連携拠点事業に取り組んで見えてきたこと

●佐藤恵・安東いつ子・河原久美子・福谷大助・福井小紀子

## 新春鼎談

2025年に向けて、次なる一步は？

大島伸一・寺田尚弘・秋山正子

## 編集後記

はいもので2013年も終わります。今年、ステーション数がはやくも6500を超えました。2011年までは5500前後で10年近くも停滞していたのです。増加の背景には、本特集「訪問看護支援事業」の効果も少なからずありそう。各地域での試行錯誤の懸命な取り組みを垣間見て、訪問看護と日本の未来が明るく拓けてくる気がしました。訪問看護に日本の未来がかかっているなんて言うのと、ちょっと大げさに感じられるかもしれませんが、でも、人々が安心して最期まで地域で暮らすことができるかどうかは、その国を映し出す鏡のように思えます。日本の未来は「きっと大丈夫!」と思えた本年最後の特集でした。みなさん、1年間本当におつかれさまでした。本誌は、来年もみなさんにエールを送り続けます。…杉本

あっと言う間に今年も12月。小誌に携わりはじめて、ちょうど20か月になりました。この間、さまざまな場所を訪れいろいろな方に出会い、快くお話を聞かせていただけることに感激しつつ、ためみな実践の数々に感動してきました。なかにはサッカーをしていたからこそ出会った著者もあり、不思議な縁を感じています。巻頭の胸井さんの座右の銘「すべての物事は必然であり偶然はない」という言葉にハッとしました。来年も訪れるであろう新たな出会いに胸をふくらませつつ、今後も在宅ケアの現場に携わるみなさまに役立つ誌面づくりができるよう、努力していきます。…多淵

訪問看護と介護 第18巻 第12号(通巻210号) 2013年12月15日発行(毎月1回15日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者:金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2013, Printed in Japan

1部定価:1,365円(本体1,300円+税5%) 年間購読料(税込,送料弊社負担,年間12冊):

13,200円(冊子版)/16,200円(冊子+電子版/個人)/18,200円(冊子+電子版/共有)/13,200円

(電子版/個人)/15,200円(電子版/共有) 販売部:☎03-3817-5659 社内案内:☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室:☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当:多淵・杉本・早田

✉ houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter http://www.twitter.com/houmonkango

医学書院ホームページ http://www.igaku-shoin.co.jp/

ウェブマガジン「かんかん!」 http://www.igs-kankan.com

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写,スキャン,デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学,病院,診療所,企業などにおいて,業務上使用する目的(診療,研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは,その使用範囲が内部的であっても,私的使用には該当せず,違法です。また私的使用に該当する場合であっても,代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は,そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉ info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。